

# キッピーピ

三田市立図書館



2024年

ほん

11月

あたらしい本がはいったよ

## しあわせ はこぶ ロマンسカー

小林 理絵／著者 世界文化社 2024年8月 Eコバ

もり なか  
森の中で、どうぶつたちがさいきん<sup>み</sup>見たふしぎないきもの  
について話<sup>はな</sup>しています。タカは「おおきなへび」、サルは「お  
おきないもむし」、キジは「しろいくちばしのおおきなと  
り」、タヌキたちは「おおきなバツタ」を<sup>み</sup>見た<sup>い</sup>と言います。  
その話<sup>はなし</sup>を木の上<sup>き</sup>で聞<sup>う</sup>いていたハトは、それはロマンスカー  
だと言<sup>い</sup>いました。どうぶつたちが<sup>み</sup>見たのりものとは…。



## はばたいたフトン

サトシン／作 さかもと すみよ／絵  
佼成出版社 2024年8月 Eサカ



みっちゃんのフтонは、こわいゆめをおいはらったり、とびだ  
したあんよをもどしてあげたり、おさないみっちゃんをずつ  
と<sup>み</sup>見ま<sup>み</sup>ってきました。やがて、大人<sup>おとな</sup>になったみっちゃんはけ  
っこんしてお母<sup>かあ</sup>さんになります。みっちゃんだけを見<sup>み</sup>つめつ  
づけてきたフトンも<sup>じぶん</sup>自分のゆめを<sup>み</sup>てもいいの<sup>おも</sup>か<sup>おも</sup>と思うよ  
うになり…。フトンのきもちが<sup>えほん</sup>つたわる絵本です。

★各館で展示しています

## 《本館》 だいすきなかぞく

だれもがみんな、だれかのだいすきなかぞく。そう<sup>おも</sup>えるような、いろいろなかぞくのおはなしをあつめました。



## ねえさんといもうと

シャーロット・ゾロトウ/文 酒井 駒子/絵・訳  
あすなろ書房 2019年4月 Eサカ

いつだって、ちいさないもうとのめんどろをみてあげているねえさん。いもうとは、ねえさんはなんでもしっていて、できないことなんてないんだ、とおもっていたけれど…。

## 《ウディタウン分館》 かぞくで たのしく!

「さんだし かぞく ひ」にあわせて、かぞく たの ほん  
「三田市家族の日」にあわせて、家族で楽しめる本をあつめました。

## わるものパパのだいだいだーいファン

板橋 雅弘/作 サトウ マサノリ/絵  
岩崎書店 2018年11月 Eサト

パパのしごとはわるものプロレスラーだ。こえをだしてパパをおうえんできないぼくだけど、ある日<sup>ひ</sup>せいぎのみかたのプロレスラー、ドラゴン・ジョージからむかしの<sup>はなし</sup>パパの話<sup>はなし</sup>をきいて…。



## 《藍分室》 きみのまわりのたからもの

いつもはみぢかでかんじないけれど、いっしょにないたりはげましあったり、かぞくつてすてきなたからものですね。

## ちいさい おねえちゃん

いとう みく/作者 えがしら みちこ/画家  
岩崎書店 2022年9月 Eエガ

とっこちゃんは、おとうとのたいちゃんが<sup>う</sup>生まれておねえちゃんになりました。だいすきなママはずっとたいちゃんのおせわをしています。さみしくてかまってほしいとっこちゃんはあかちゃんのように…。





# みつけたよ！こんな本



## ぼくがぼくに 変身する方法

やませ たかゆき / 作 はせがわ はっち / 絵  
岩崎書店 2024年8月 Nヤマ

タクミはフリーマーケットであこがれの<sup>へんしん</sup>変身ベルトを<sup>か</sup>買い、ほんとうにサンダー<sup>かめん</sup>仮面<sup>へんしん</sup>に変身してしまいます。すごく<sup>つよ</sup>強くなって、こまった<sup>ひと</sup>人を助けられるのはうれしいけれど、<sup>もと</sup>元にもどれません。さてタクミは元の<sup>もと</sup>自分<sup>じぶん</sup>にもどれるのでしょうか？



## 安房直子 絵ぶんこ⑥

### ひぐれのお客 / 初雪のふる日

安房 直子 / 文 松村 真依子 / 絵  
あすなる書房 2024年7月 Nアワ

<sup>ふゆ</sup>冬のひぐれに<sup>しゅげいや</sup>手芸屋さんへやってきた<sup>くろねこ</sup>黒猫が、マントにつける<sup>あか</sup>赤い<sup>うらじ</sup>裏地をさがす「ひぐれのお客」。石けりの<sup>まわ</sup>輪にとびこんだ<sup>おんな</sup>女の子が、うさぎの<sup>せかい</sup>世界につれていかれそうになる「<sup>はつゆき</sup>初雪のふる日」。ふたつのおはなしをお<sup>たの</sup>楽しみください。

## と しょ かん いん き い 図書館員のお気に入り♪ 「あさいち」

大石 可久也 / え 輪島・朝市の人びと / かり  
福音館書店 1984年4月 Eオオ



<sup>ことし</sup>今年のはじめ、<sup>しんさい</sup>震災がおこるまで、<sup>いしかわけんわしま</sup>石川県輪島で<sup>まいにち</sup>毎日ひらかれて<sup>あさいち</sup>いた『朝市』。これはその<sup>ようす</sup>様子を、<sup>みせ</sup>店を出す<sup>おんな</sup>女の人たちの<sup>たの</sup>楽しげなおしゃべりでつづった40年ほど<sup>ねん</sup>前の<sup>まへ</sup>絵本で、<sup>えほん</sup>今年<sup>ことし</sup>再び<sup>ふたたび</sup>出版されました。語られる<sup>ふるさと</sup>ふるさとの<sup>ことば</sup>ことばは<sup>あたたか</sup>あたたかく、<sup>いま</sup>今も昔も<sup>むかし</sup>変わらないのに、<sup>か</sup>風景や<sup>ふうけい</sup>くらしが<sup>とうじ</sup>当時とは<sup>おお</sup>大きく<sup>か</sup>変わってしまった<sup>げんじつ</sup>現実に、<sup>むね</sup>胸が<sup>おも</sup>ぎゅっとしめつけられる<sup>おも</sup>思いです。

# こんげつ かみ 今月の紙しばい

## コンコちゃんとなかまたち



すとう あさえ／脚本 福田 岩緒／絵

童心社 2004年12月 Kコ

きつねのコンコちゃんは、めんどうみがいいので<sup>もり</sup>森にすむ<sup>どうぶつ</sup>動物たちからたよりにされています。ある日<sup>ひ</sup>、コンコちゃんは、おばあちゃんの家までみんなを<sup>あん</sup>案内します。ところが、とちゅうで<sup>みち</sup>道にまよってしまつて…。なかま<sup>ない</sup>っていいな、<sup>たす</sup>助け合<sup>あ</sup>うっていいなと心<sup>こころ</sup>があたたかくなる秋のおはなしです。

なるほど!

## たべものまめちしき

お肉<sup>にく</sup>やスパゲッティなどの料理<sup>りょうり</sup>で使<sup>つか</sup>われるニンニク。いろいろな品種<sup>ひんしゅ</sup>があり、お店でよく見る白色<sup>みせ</sup>の他に、赤<sup>あか</sup>むらさきやうすいピンク色<sup>いろ</sup>のものなどがあります。

強い<sup>つよ</sup>香<sup>かお</sup>りがとくちょうですが、<sup>はたけ</sup>畑でさいばいされているときはほとんどにおいがしません。切<sup>き</sup>ったり、つぶ<sup>つぶ</sup>したりして細<sup>さい</sup>ぼうがこわれると強い<sup>つよ</sup>香<sup>かお</sup>りが出<sup>で</sup>てきます。



こんげつ  
今月は  
「ニンニク」  
だよ!



世界<sup>せかい</sup>では、しゅうかく<sup>ご</sup>後にニンニクの女王<sup>じょおう</sup>をえらんだり、パレード<sup>まつ</sup>をしたりするニンニク祭り<sup>おこな</sup>を行う<sup>くに</sup>国があるそうです。

参考文献 『そだてて あそぼう [77] ニンニクの<sup>えほん</sup>絵本』

大場 貞信／編 宇田川 新聞／絵 農山漁村文化協会 2008年2月 62/08